

仕事納め式にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

先ず始めに、先ほど職員表彰を受けられました人事課秘書広報班、子ども未来課子育て支援班、ならびに地域協働課協働政策班の職員各位に対し、改めてそのご功績を称え、今後益々のご奮闘を心から期待いたします

さていよいよ年末を迎えますが、今年是一年を通して「安全安心」というテーマを突き付けられた歳月でありました。

いまだ終息することのない新型コロナウイルスの感染拡大や、7月末の線状降水帯による豪雨によってもたらされた白石地区の山腹崩壊をはじめとする市内各地での災害、さらに台風9号、10号の襲来など、本市にとりましても他の自治体同様、大規模な自然災害に巻き込まれた混沌と苦勞の一年でありました。

この間、国内では多くの尊い命が失われ、深い悲しみの中におられる方々にお見舞いを申し上げますとともに、復旧復興に粘り強く取り組んでおられる方々、そして今回のコロナ禍対策を含め常に市民の命と健康を守り続けておられる医療関係者の皆様の献身的なご尽力に対し心より敬意を表する次第であります。

今朝の新聞各社によりますと、「県と長崎、佐世保両市が27日、五市二町で新たに計29人が新型コロナウイルスに感染したと発表し、県内の感染者の累計は566人に達した。」と報じました。

まさに「緊急事態」が目前に迫りつつありまして、本市においてもさらに予断を許さない状況が続くものと思わなければなりません。

これまでの流れを振り返りますと、本市における時系列的な対応につきましては、3月初旬には、子どもの安全を優先した学校休業についての柔軟な対応や、その後の備蓄マスクの効果的な配布、また5月連休を挟んで、市民の経済損失をカバーするための特別定額給付金への迅速な対応、さらには市内事業者の方々への持続化支援給付金の積極対応など、全国の自治体の中でも、常に市民ファーストで取り組んでこられた職員各位の弛まない使命感と郷土愛に裏付けられた業務実践の姿に、私自身感銘を受けており、誇らしさを実感しております。本当にありがとうございました。

さらに今日まで、市民の皆様のご理解ご協力を得ながらの、日常における手洗いやうがい、マスク着用などの衛生管理の徹底により、7月から今月までGOTOトラベルなどの経済刺激政策によって9万人を超える平戸市内への移動があったにもかかわらず、感染者ゼロを維持し続けていることは、大変すばらしいことであると思います。

ただし当然のこととはいえ、人の移動が制限されたことによって、予定されていた各種イベントや記念行事などが次々と延期もしくは中止され、いつもながらの活気あふれる平戸の躍動感や魅力にあふれる感動を全国へ発信したり、共有できなかったことが大変残念でした。

特に、来年早々新年の幕開けにふさわしい恒例行事として予定されていた成人式と新年賀詞交歓会についても中止を決断せざるを得ない状況となりました。賀詞交歓会は食事やお酒の席であるため、感染リスクが懸念されますが、成人式は何とか実現できないかと検討を重ねてまいりましたが、もしもの市内感染事例が起きた場合、その原因を成人式とりわけ帰省した成人者が謂われなき誹謗中傷によって悪者扱いされることが懸念されたことが理由の一つです。

私たちが対峙すべき「見えない敵」はウイルスそのものであると同時に、人間の心の中の疑心暗鬼や、誹謗中傷・差別する心だと思います。そうした他人を攻撃する心を少しでも抑え込んでいくために苦渋の決断をせざるを得なかったことについてご理解をいただきたいと思います。

一方で、来年以降に持ち越したイベントや、さらに改良を加えながら継続していかなければならない事業など、市民の皆様との英知を結集して「新しい日常」を踏まえたスタイルで、必ずや実践にこぎつけることができるよう努力してまいりたいと思います。

そうした中、今年はいくつものテレビの全国放送で平戸市が取り上げられる場面がありました。

例えば、「城泊」にスポットを当てた『ガイアの夜明け』や、アスパラガス生産に取り組む先進的な農家が主役の『田舎で 1000 万プレーヤー』、そして売れ行き好調で人気の夏香ブリなど地元養殖業者の取り組みを舞台にした『青空☆満点レストラン』など、それぞれ反響が大きく、移住相談やふるさと納税へのアクセスが増大した実績もあり、平戸の魅力が拡散された出来事だったと思います。

そして何よりも、年末に大変嬉しいニュースが飛び込んできました。

かねてより進めておりました田平町古梶に造成した工業団地への企業進出が決定したという快挙です。高級自動車の内装部品の金型製作や人工関節など医療機器製作など幅広い実績をおさめている愛知県のK T X株式会社という企業ですが、当社はトヨタ自動車をはじめとする多くの大手企業との取引実績を有し、年商約 40 億円を誇り、アメリカ、中国、韓国、タイなどにも生産拠点を有する一流企業で、今回の進出においては造成した 2ha を全て買い上げてくださるという意気込みです。来年早々に契約を締結し臨時議会にて承認をいただくこととなっています。今後の事業進展とともに、雇用が生まれ、地域の活性化につなげてもらえるよう行政としてもしっかりとバックアップしてまいりたいと思います。

さて、たとえコロナ禍の不自由で閉塞感漂う時代であっても、さらなる人口減少や少子高齢化などの慢性的な厳しい現実が横たわっており、私たちはこうした課題から避けることはできません。「見えない敵」と闘うためには、その恐怖や不安に対して、単に恐れ背を向けるということだけではなく、むしろ敵を知り、研究し、情報を集め、向かい打つ仲間の覚悟を原動力に替え、果敢に攻めていこうとする決意が重要ではないでしょうか。

いまや都会の経済性に裏付けられた利便性、あるいは「顔の見えない気楽さ」に裏付けられた自由空間よりも、地方が与えてくれる安らぎや健康的な生活の営み、人と人との笑顔で交わされる真心と支え合うシステムこそが、求められている時代になりつつあります。日本財団が 8 月上旬に、全国の 17 歳から 19 歳の 1,000 人に実施したインターネット調査では、4 割近い人が地方で暮らしたいと答えています。これは昨年にと比べると一割もの増加があったそうです。

幸せの定義は、人それぞれ違うものでしょうし、まさに自分で決めるものではありませんが、それは必ずしも、お金や自由だけではなく、「安心・安全」や「絆」という心安らかな価値を求める傾向が強くなっているのが現状であると確信いたします。

今こそ職員一丸となってさらに平戸の潜在能力を再認識し、市内全域で組織されたまちづくり協議会との連携をより一層強化しつつ、それぞれが向上心を抱きながら、これまで以上に謙虚で真摯に業務に向き合い、常に初心を忘れず市民のために判断し行動できるよう心がけていただきたいと思います。

さて年末年始は、これまでとは違った形で過ごすことになるでしょう。

県知事から警戒警報発令に伴う要請が出されたことにより、一定の制限と自重が求められているとはいえ、市外から多くの帰省される方々をお迎えすることになります。先に申し上げたとおり、せっかくこれまで感染者ゼロの実績を積み上げてきましたので、引き続き緊張感をもって、手洗い・うがいの励行、マスク着用をはじめ三密を避けたエチケットを徹底し、安心の信頼を持ち続ける生活習慣を実践してください。

そして、皆さんそれぞれに自覚をお持ちではありますが、くれぐれも飲酒運転だけは絶対にしないよう固く心に刻んでいただくとともに、暴飲暴食によって健康が損なわれないよう注意してください。

最後になりましたが、本日は山内清二議長、山本芳久副議長はじめ議員各位にはわざわざご臨席を賜りご激励をいただきましたこと誠にありがとうございました。

来年も引き続きご指導ご助言くださいますようお願い申し上げます。

以上をもって仕事納めのご挨拶と致します。 終わります。